

巡回診療訓練



日赤救護班として活動する米沢市立病院のメンバー

日赤救護班は主に医師をはじめとした6名で構成されます。災害が発生すると、各県支部の日赤救護班は迅速に被災地域に向かい、実働3～7日の範囲で救護活動等を行います。

救護所における巡回診療訓練では、看護師らは傷病者役らに心身の具合を聞いて周り、主事（ロジスティックス）は早速EMISの入力や、救護所の責任者役に現場の聞き取り調査をするなど実際の災害を想定した訓練を行いました。

山形県内には日赤病院がないため、県内のいくつかの病院は災害時に日赤救護班として活動を行います。本訓練に参加した米沢市立病院 看護師長の長谷部さんは「このような活動に携わることが出来てありがたい。病院内では災害救護を希望するナースは多く、私自身も少しでも手伝えればという思いがある。」また、「巡回診療訓練やEMIS訓練で得られた知識や経験を、院内にも周知できたら良い」と仰っていました。